

市河三祿 いちがわ さんろく 隨筆家。明治二十二年十一月二十七日東京生れ、昭和十二年四月十八日歿（八九の一九三六）。書家市河萬菴の三男。長兄は市河三陽、次兄は英語學者市河喜翁ある。専門は林學。昭和十年雜誌『文藝春秋』（二月號）に「兄弟」を發表、その獨特刺戟な語り口が好評を得、爾來隨筆家として知られるも、執筆三年にして歿す。

『三祿飄談』（昭和十一年七月）『市河萬菴書房』、『三祿隨筆』（市河萬菴編、昭和十二年七月）『モダ』日本社）の二書が遺した。

